

2021年2月期 第3四半期決算説明資料

2021年1月14日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（証券コード：2884）

1. 当社が目指す姿
2. 2021年2月期 3Q決算ハイライト
3. 2021年2月期 3Q決算概要
4. トピックス
5. Appendix

1. 当社が目指す姿

いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

- 私たちは、人々が、多種多様な選択肢から自分の嗜好に合わせて自由に選択でき、それが尊重される社会こそ、豊かで幸せであると考えます。
- 私たちは、世界中の消費者が、多種多様で高品質な“おいしい”を自由に選択し、それを楽しめる豊かな社会を目指してまいります。

地域の“おいしい”を守り、育て、世界へ

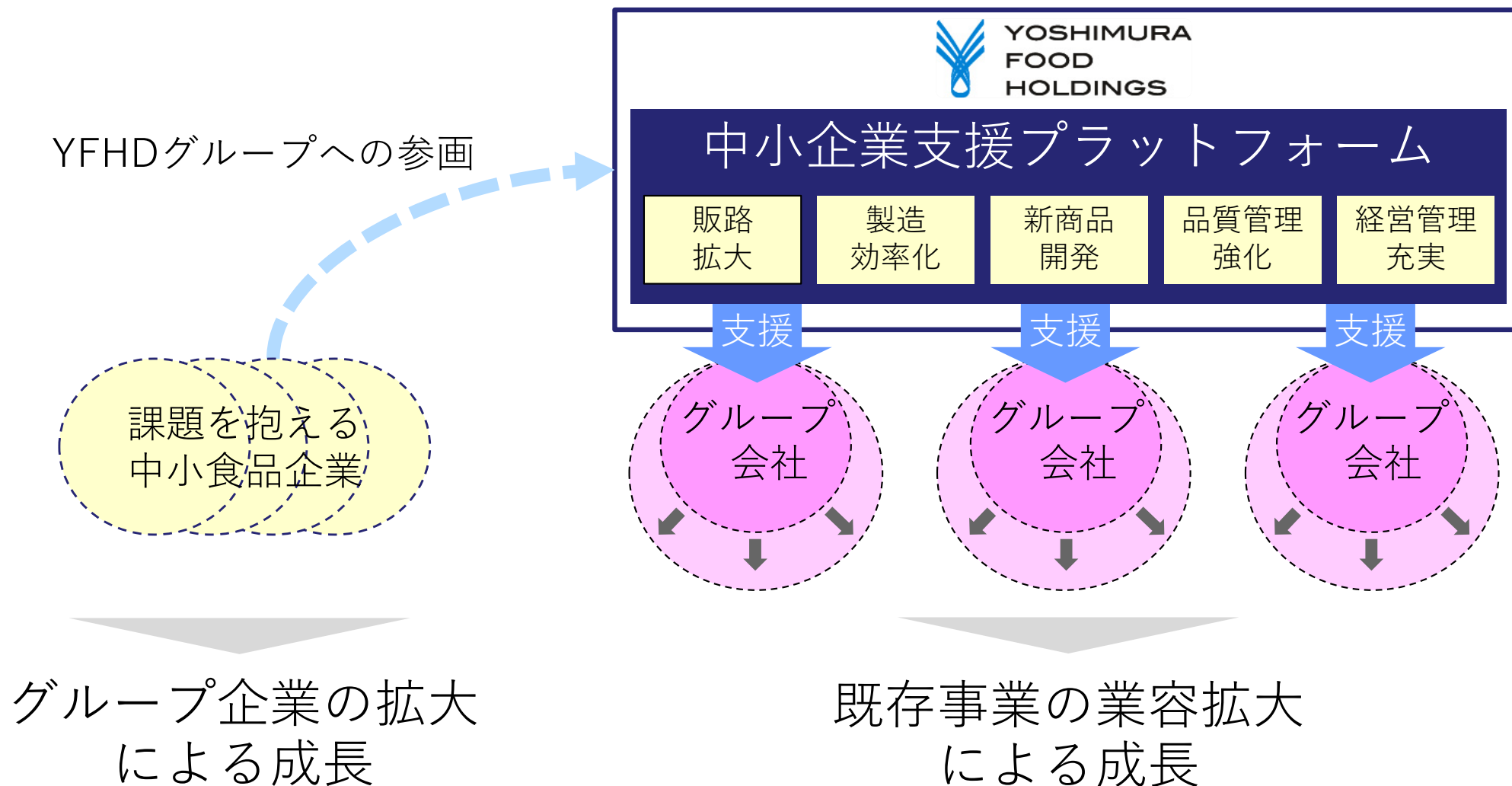
- 私たちは、「いつまでもこの“おいしい”を楽しめる社会」を実現するため、日本および世界で大切にされてきた“おいしい”を見つけ、守り、育て、世界へと届けてまいります。
- そのために、私たち独自の“おいしい”を見つける目利き力、“おいしい”を守る事業基盤、“おいしい”を育てる支援機能、“おいしい”を世界へと届ける販売網を構築してまいります。
- その結果として、世界の食文化と多様化、地域社会の活性化を推進するグローバルプロデューサーとなります。

「あなた“らしさ”を大切にします」

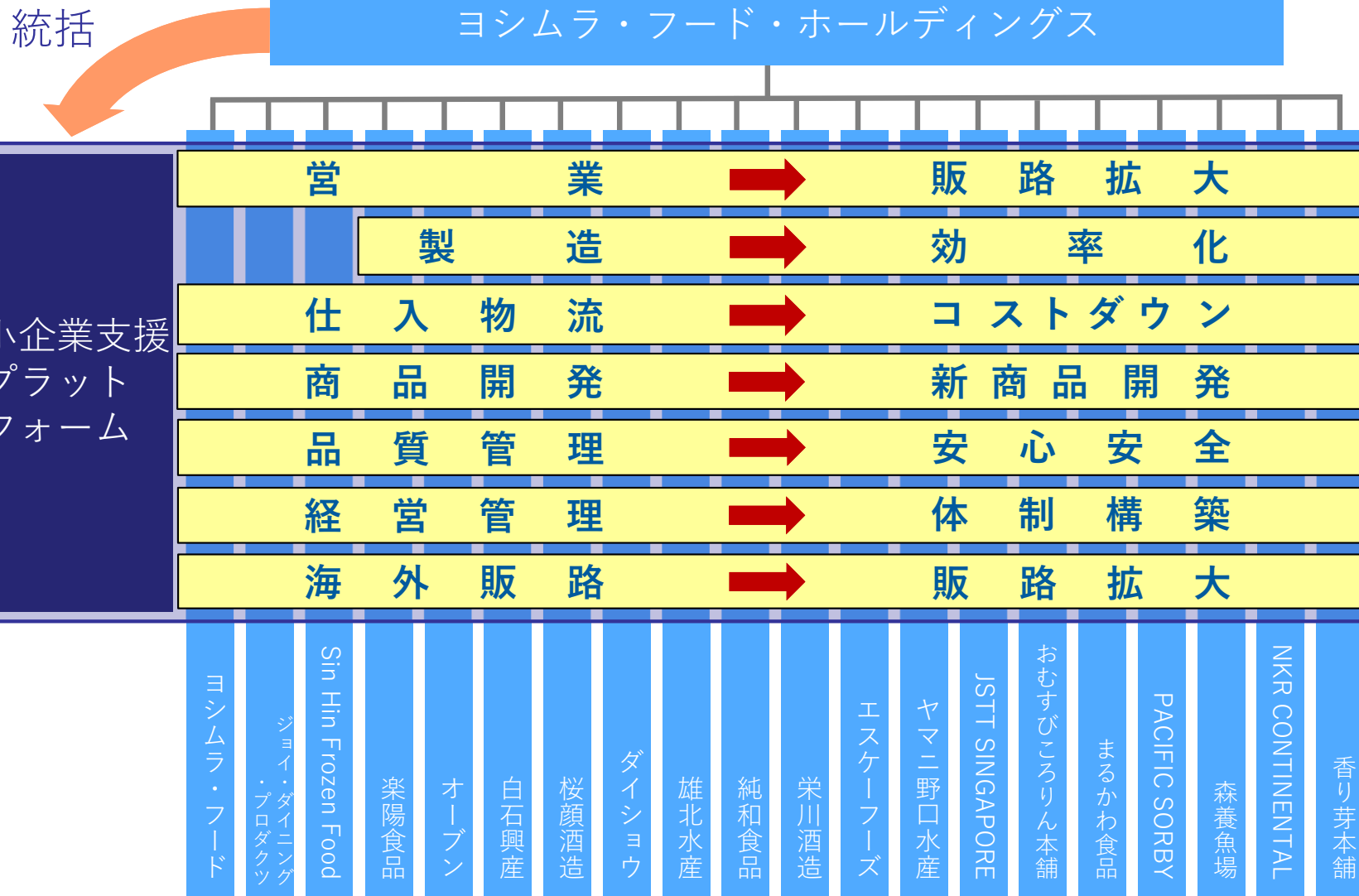
- 私たちは、私たちに関わる全ての方のあなた“らしさ”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループで働く社員の“個性”、“新しい発想”、“チャレンジ精神”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“歴史”、“文化”、“社員”、“取引先”、“地域社会”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“強み”を伸ばし、“弱み”を補い合い、共に成長してまいります。
- 私たちは、私たちに関わる全ての人の“らしさ”を大切にしたら結果、多様な選択肢のある豊かな社会づくりに貢献します。

当社のビジネスモデルについて

食品業界におけるユニークなビジネスモデルにより、当社は**2つの成長エンジン**を有する



グループ会社を「機能別に統括」することで「相互補完・相互成長」を図る仕組み



グループ会社の有機的な相互補完関係

会社の壁を越えて
機能ごとに横断的組織
を構築

グループで最もノウハウ
をもった人材が統括
責任者となり、グルー
プを横断的に統括

各社の持つ強みを
グループ全体で共有し
弱みを補い合う

後継者不在企業を譲り受け、グループ化して活性化する当社の事業は正にESG経営そのものであり、ESG経営をより強化することで持続的な成長を実現いたします。



いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

G (ガバナンス) : ホールディングスによるグループ会社の成長支援

- 中小企業支援プラットフォームによる経営支援
- 経営管理機能の提供

E (環境) : グループ会社の取り組み

- 環境に配慮した持続可能な食品製造



< 森養魚場の例 >

- 河川の水質汚染等に伴う天然鮎の減少に対して、養殖技術による安定供給で貢献

S (社会) : グループ全体の取り組み

- 後継者不在企業の事業継続

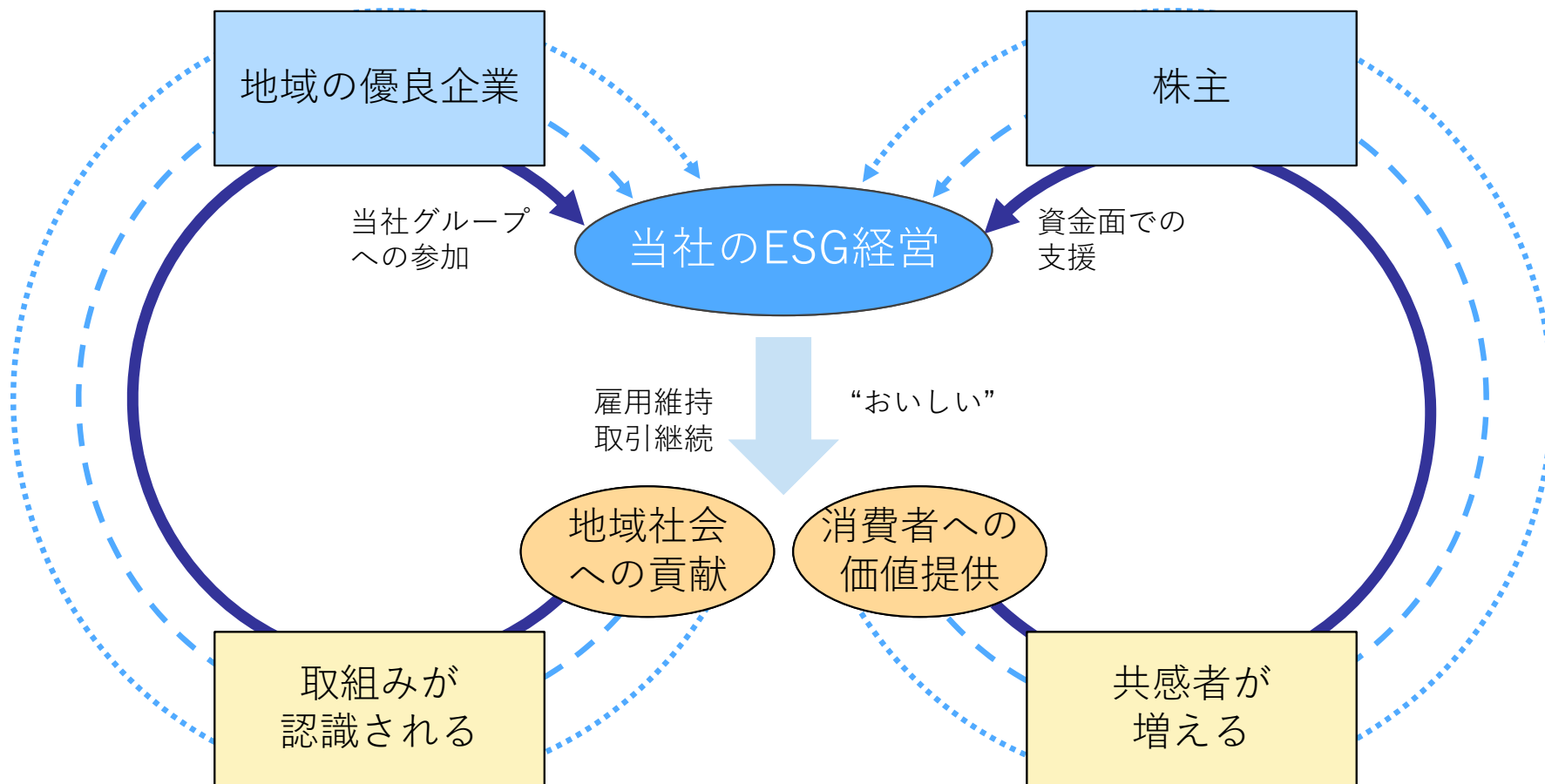


< まるかわ食品の例 >

- 秘伝のレシピにより地域で高い支持
- 後継者不足で廃業を告知するもファンの強い後押しで当社が事業を継続

ESG経営による持続的成長

ESG経営を推進することで、地域社会への貢献や消費者への価値提供を進め、当社グループに共鳴して参画を希望する優良企業と、当社グループに共感して株主として支援する企業や消費者を増やし、当社グループが持続的に成長することが可能。



ESG

取り組み内容

E

環境
(Environment)

■ 環境に配慮した持続可能な製品製造

- ・ 環境変化に依存しない、もしくは、環境に負荷をかけない持続可能な製品製造技術・ノウハウを保有
- ・ 限られた食料資源の有効活用や効率的な生産を実施
 - 森養魚場：気候変動、河川の水質汚染等の影響により天然鮎が減少する中、独自技術にて養殖鮎を安定供給
 - ヤマニ野口水産：サイズ不揃い品を用いた製品の開発により食材ロス削減への貢献
 - 雄北水産：原材料の有効活用により、ネグトロや中落ちを効率的に生産・販売

■ 製造工程にて発生した産業廃棄物の再利用

- ・ グループ各社：製造工程にて発生した廃棄物を地域の畜産業者などに提供することによる食品廃棄物の有効活用

■ 消費電力削減

- ・ グループ各社：工場の使用電力削減を目的とした、LED化、高効率ボイラーの採用などを順次実施

S

社会
(Social)

■ 地域に強力なファンを抱える企業等を引き受けることにより、事業の存続に貢献

■ 地域社会における食の多様性への貢献

- ・ 地域の消費者から高いニーズがあり、こだわりを持った原材料・レシピによる製品開発を実施
 - 香り芽本舗：地元中国地方のふりかけ市場にてトップクラスのシェア
 - まるかわ食品：鮮度抜群の豚肉や（主に）地場産キャベツを中心としたこだわりぬいた原料と秘伝のレシピ
 - おむすびころりん本舗：信州安曇野の立地条件とフリーズドライ技術を生かした地域の特産品開発
 - 榮川酒造：地域が誇る日本名水百選に選定された「龍ヶ沢湧水」を使用した清酒造り
 - ダイショウ：保存料、着色料、酸化防止剤不使用。なめらかな食感と飽きのこない味
 - オープン：広島の高純海域、条件付高純海域に限定したカキの仕入れ

■ 従業員の多様性

- ・ グループ各社：女性の活躍の場を整備、障害者、外国人の登用など各種取り組みを実施

G

ガバナンス
(Governance)

■ 経営リソースのサポート

- ・ グループ会社の資金調達や次世代経営者の育成により、グループ会社経営を支援

■ 中小企業支援プラットフォームによる支援

- ・ グループ会社の自律性を担保しつつ、状況に合わせた事業計画立案や進捗管理への関与
- ・ 機能別の統括部署を設置し、グループとして事業支援や各種進捗管理などを実施

E（環境）：森養魚場

- 稚魚の人工孵化、成育、出荷までの完全養殖技術
- 事業承継者不在による存続を支援



E（環境）：純和食品

- 産廃のたい肥化、廃プラの固形燃料化等の環境保護
- 事業承継者不在による存続を支援



G ヨシムラ・フード・ホールディングスによるガバナンス 中小企業支援プラットフォームによる経営支援

S（社会）：香り芽本舗

- 地元中国地方のふりかけ市場にてトップクラス
- 事業承継者不在による存続を支援



S（社会）：まるかわ食品

- 鮮度抜群の豚肉などを原材料とした大人気の餃子
- 継承者不在、地元民からの強い要望による事業承継



2. 2021年2月期 3Q決算ハイライト

業績				
売上高	221 億円	前年同期比	101 %	
営業利益	3.9 億円	前年同期比	59 %	
経常利益	5.3 億円	前年同期比	75 %	
EBITDA	10.9 億円	前年同期比	91 %	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

概要

<国内事業>

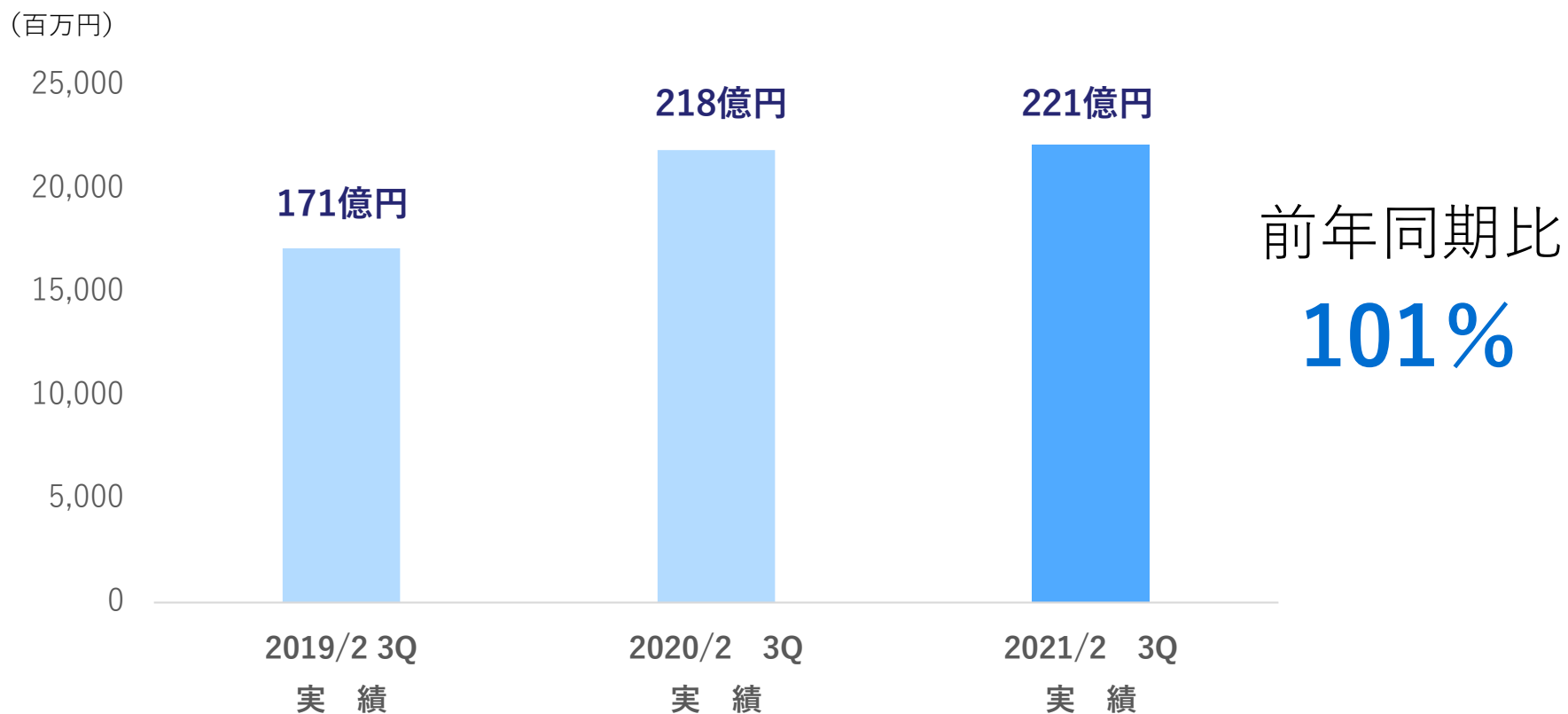
国内製造事業は、スーパー量販店向けの売上が増加したことで増収増益となった。一方で、国内販売事業は、生協向けの売上が増加したが、産業給食向けの売上が減少したため減収となったが、利益面では増益となり、国内事業全体では増収増益となった。

<海外事業>

新型コロナウイルスの影響が継続しており、小売店向けの売上は引き続き安定的に推移したが、ホテル向けの売上が減少したことで、前年比では大幅に減収減益となった。一方で、シンガポール国内の消費が拡大傾向にあり、飲食店向けの売上を中心に回復傾向となっている。

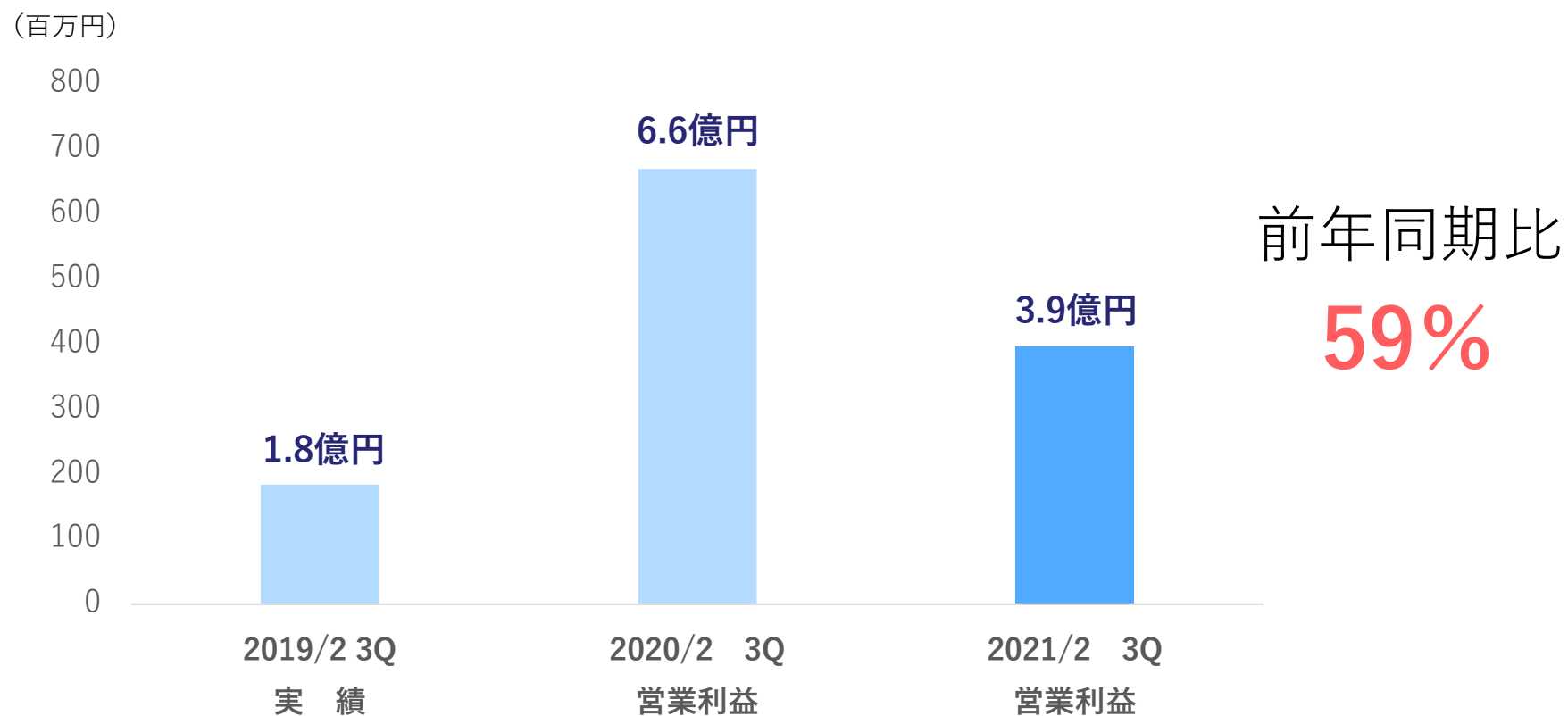
売上高

新型コロナウイルスの影響により、海外事業の売上が減少したが、国内事業は引き続き堅調に推移し、前年同期比**101%**となる。



営業利益

国内事業は引き続き前年比で増益となるも、利益率が高い海外事業の売上が大幅に減少したことで大幅な減益となり、前年同期比**59%**となる。



EBITDA

EBITDAは1,094百万円、前年同期比**91%**となる。

(百万円)

1,400

12.1億円

1,200

10.9億円

1,000

800

600

400

200

0

2020/2 3Q

2021/2 3Q

EBITDA

EBITDA

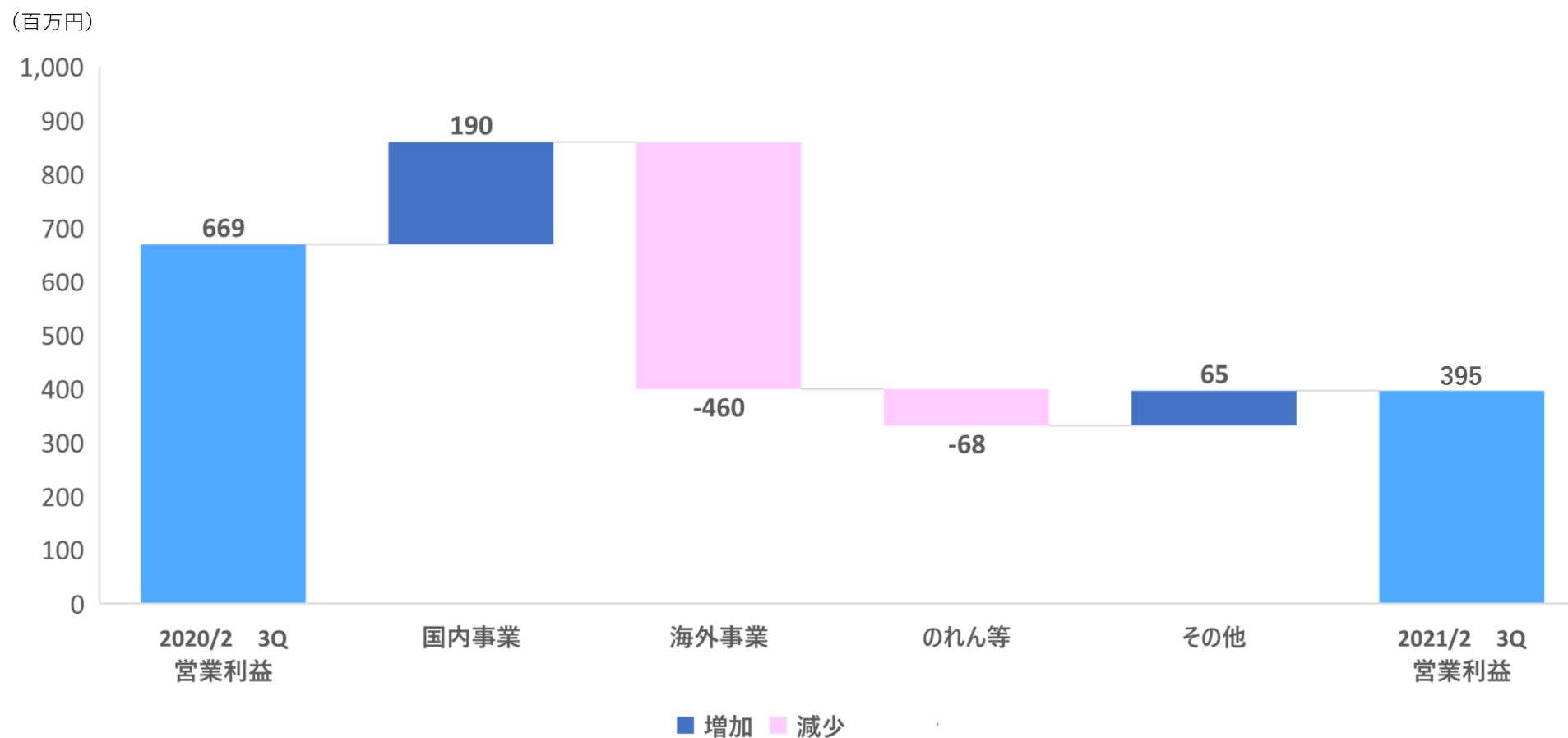
前年同期比

91%

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

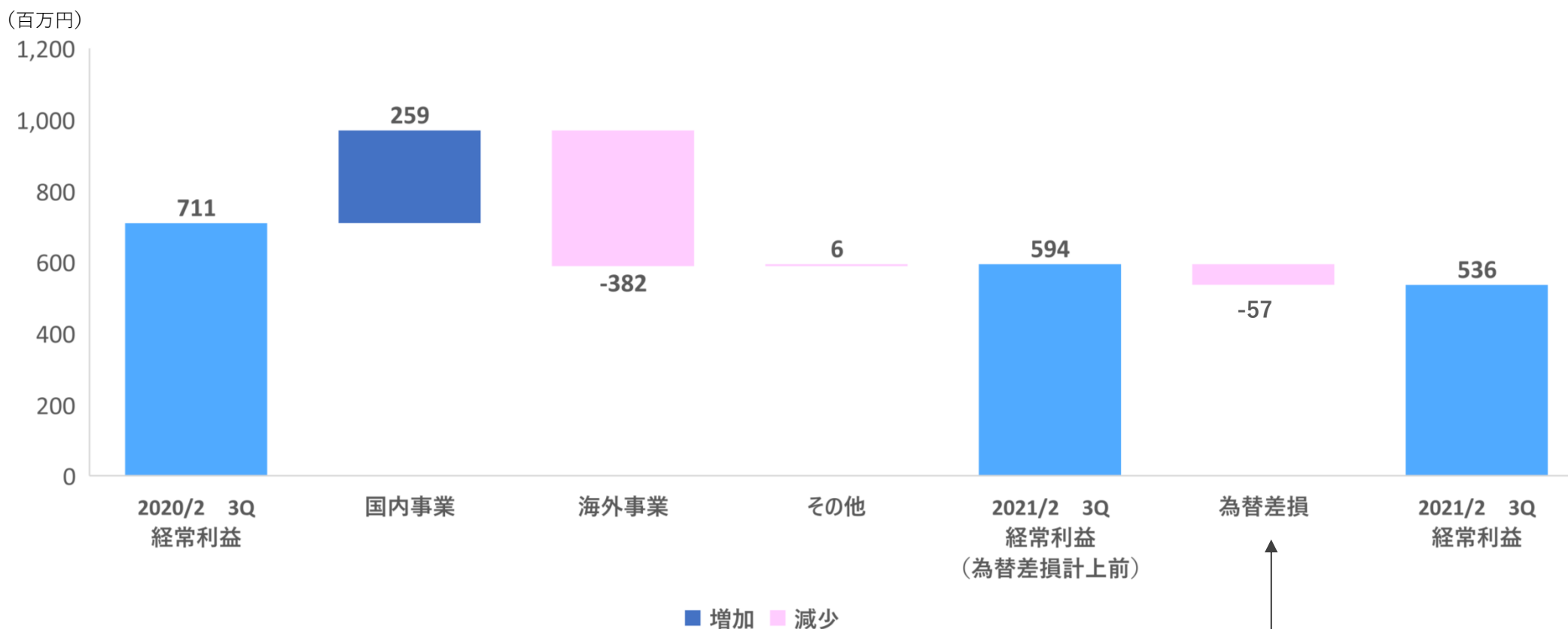
営業利益分析

国内事業は前年同期比 **+190百万円** と増益となるも、
海外事業は前年同期比 **△460百万円** と大幅な減益となる。



経常利益分析

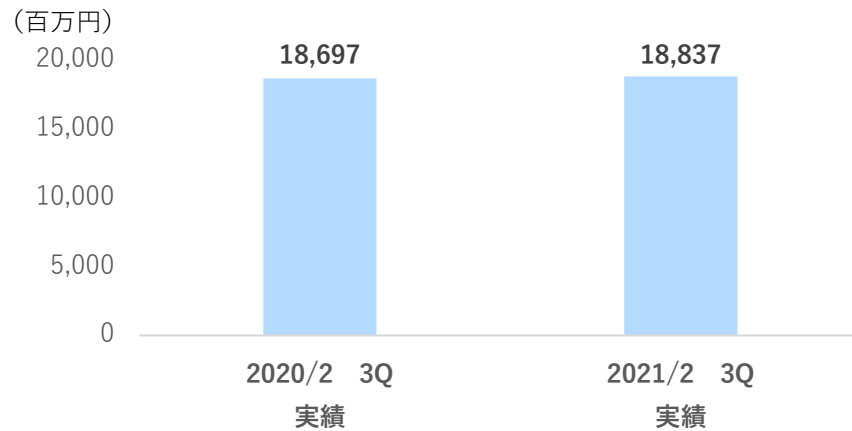
国内事業は前年同期比 **+259百万円** と増益となるも、海外事業は前年同期比 **△382百万円** と大幅な減益となる。また、為替差損 **57百万円** を計上。



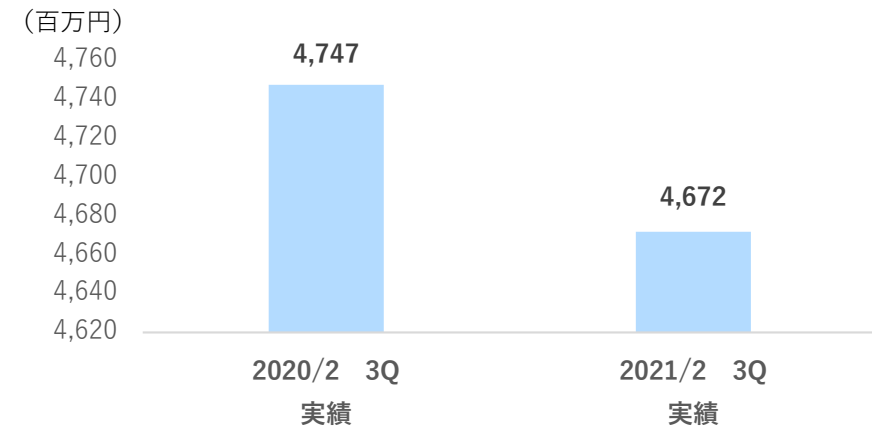
為替差損
2Q : 62百万円 ▶ 3Q : 57百万円へ減少

2021年2月期 3Q国内・海外別実績

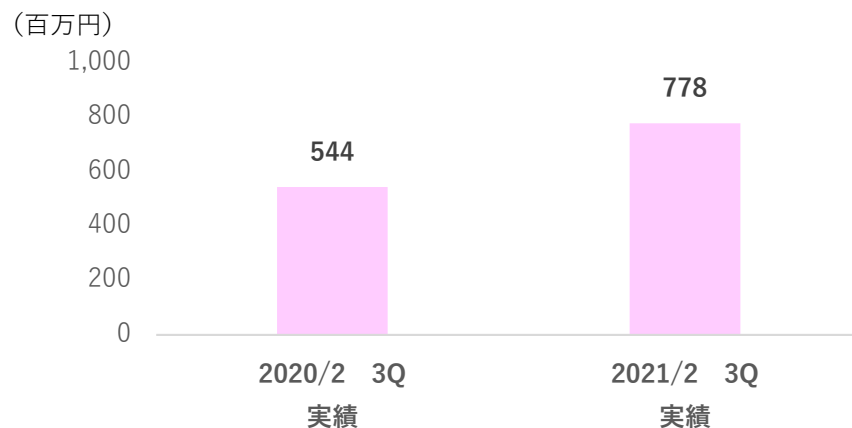
国内売上



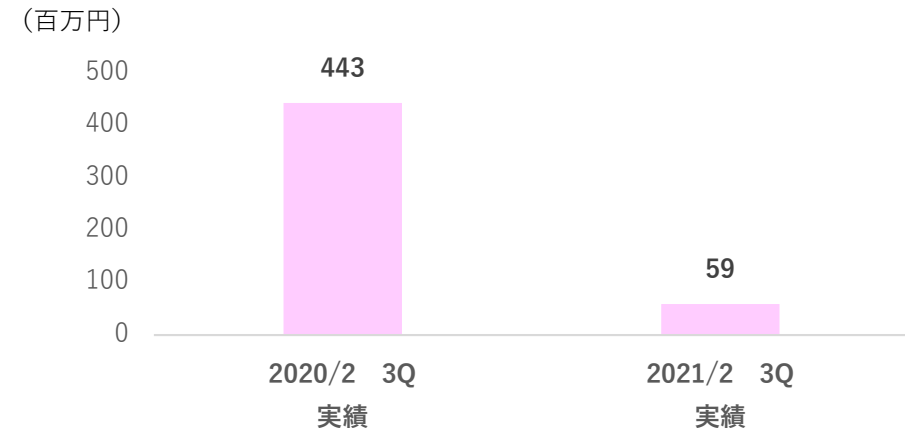
海外売上



国内経常利益



海外経常利益



(注) 売上高は、セグメント間の取引が含まれています。経常利益は、のれん償却額等を含めていません。

3. 2021年2月期 3Q決算概要

損益計算書

前年同期比は、売上高101.2%、営業利益59.2%、経常利益75.4%、当期純利益63.5%、EBITDA90.8%となる。

	2020年2月期 3Q		2021年2月期 3Q		前年 同期比	(単位：百万円)
		構成比		構成比		
売上高	21,884	100.0%	22,143	100.0%	101.2%	【売上高】 ✓ M&A及び国内事業の増収要因はあったが、新型コロナウイルスの影響で海外事業の減収が影響し横ばい
売上総利益	4,574	21.0%	4,802	21.7%	105.0%	
販管費	3,905	17.8%	4,407	19.9%	112.9%	【営業利益】 ✓ 国内事業は増益となったが、新型コロナウイルスの影響で海外事業が大幅な減収となったため、減益となる
営業利益	669	3.3%	395	1.8%	59.2%	
経常利益	711	3.4%	536	2.4%	75.4%	【販管費】 ✓ 今期より販管費率の高いNKRを子会社化したため増加
当期純利益	325	1.6%	206	0.9%	63.5%	
EBITDA	1,206	5.5%	1,094	4.9%	90.8%	【経常利益・当期純利益】 ✓ 上記及び為替差損の影響により減益となる

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

売上高の状況（セグメント別）

国内子会社は、市販用商品を中心に好調に推移するも、海外子会社は、新型コロナウイルスの影響により売上が大幅に減少。

	2020年2月期 3Q	2021年2月期 3Q	前年 同期比	(単位：百万円)
製造事業セグメント	15,315	16,424	107.2%	【M&A】 ✓当期グループ化したNKRおよび香り芽本舗が寄与 【新型コロナウイルスによる影響】 ✓国内事業 スーパー量販店向け市販用商品（樂陽食品、純和食品等）の売上は増加したが、産業給食、飲食店や観光向け等の業務用商品（オープン、エスケー等）の売上は減少した。 ✓海外事業 新型コロナウイルスの影響が継続し、スーパー向けの売上は引き続き安定したが、飲食店向けの売上はシンガポール国内の消費拡大に伴い回復傾向となるも、ホテル向けの売上が減少したことで、前年比では大幅にマイナスとなった。 (注) 2020年2月期3QのPacific Sorbyおよび森養魚場の売上高は6月~11月の6か月分となります。
樂陽食品	3,788	3,934	103.8%	
オープン	2,050	1,766	86.1%	
純和食品	1,350	1,577	116.8%	
エスケーフーズ	2,619	2,345	89.5%	
JSTT	906	843	93.0%	
その他（9社）	3,333	3,271	98.1%	
Pacific Sorby	1,276	841	65.9%	
森養魚場	649	737	113.5%	
NKR	—	1,404	—%	
香り芽本舗	—	351	—%	
販売事業セグメント	6,569	5,718	87.1%	
ヨシムラ・フード	3,668	3,424	93.4%	
ジョイ・ダイニング・P	863	1,027	119.1%	
Sin Hin	2,431	1,555	64.0%	
合 計	21,884	22,143	101.2%	

(注) 個別の業績につきましては、セグメント間の取引が含まれているため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

貸借対照表

第3四半期末における大きな変動はない。

	2020年2月期	2021年2月期 3Q	前期末増減額	(単位：百万円)
流動資産	14,148	14,243	+95	【流動資産】
現金及び預金	3,015	4,449	+1,434	✓ 売掛金の回収により現金及び預金が増加
売掛金	5,585	4,646	△938	
たな卸資産	5,350	4,878	△471	
その他流動資産	197	269	+72	
固定資産	9,729	8,995	△734	【固定資産】
有形固定資産	4,128	3,928	△200	✓ 減価償却等に伴う有形固定資産の減少
無形固定資産	4,811	4,328	△482	✓ のれん償却に伴う無形固定資産の減少
投資その他の資産	789	738	△51	
資産合計	23,877	23,239	△638	
流動負債	9,749	7,313	△2,436	【流動負債】
買掛金	2,757	2,316	△440	✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたことにより減少
短期借入金	3,039	1,363	△1,675	
1年以内返済予定長借	1,513	1,750	+236	
その他流動負債	2,438	1,882	△556	
固定負債	7,449	9,226	+1,776	【固定負債】
長期借入金	7,119	8,962	+1,842	✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたこと、新たに銀行借入を行ったことにより増加
その他固定負債	330	264	△66	
負債合計	17,199	16,539	△659	
純資産	6,678	6,699	+21	【純資産】
				✓ 第三者割当増資により増加
負債・純資産合計	23,877	23,239	△638	

国内事業

- 大部分を占めるスーパー量販店向けの売上は、巣ごもり需要が落ち着く中でも増加傾向が継続する見通し。
- 外食及び観光向け等の業務用の売上は、Go To キャンペーン等の影響により徐々に回復基調となるも、再度の緊急事態宣言発出により見通しは不透明。
- **国内子会社の売上は、期末及び来期に向け安定的に推移する見込みだが、緊急事態宣言の影響により変動する可能性あり。**

海外事業

- シンガポールでは、海外からの渡航制限、結婚式やパーティー等の人数制限により、ホテル向けの売上は厳しい状況が継続するが、シンガポール居住者が海外へ行けなく国内での消費が活発化しているため、飲食店向けの売上は増加傾向に転じ、今後も継続する見込み。スーパー向けの売上も引き続き安定的に推移する見通し。
- **海外子会社の売上は、第3四半期以降、特に第4四半期において回復傾向となっている。本格的な回復は、アジアにおける新型コロナウイルスの終息次第であり、引き続き流動的。**

4. トピックス

シンガポールにおけるグループ商品販売（JSTT）

シンガポールで寿司等の製造・販売を行うJSTT Singaporeでは、同社がスーパーマーケットに持つ寿司コーナーにて、日本のグループ会社の商品販売を強化しています。



純和食品は、シンガポールを拠点にアジアでベーカリーチェーンを展開する BreadTalkのPB商品を開発し、同社のシンガポール店舗（約46店）において販売を開始いたしました。



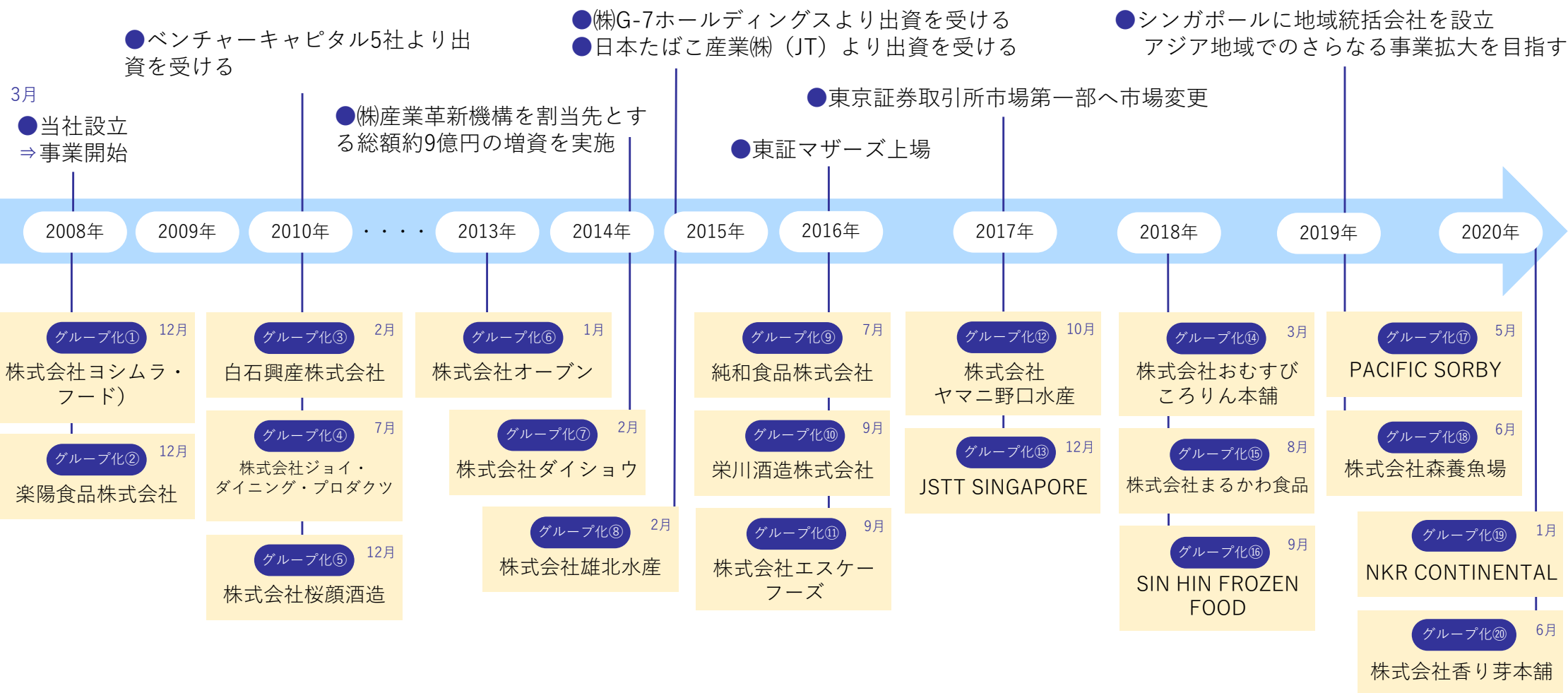
5. Appendix

社名	株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
設立	2008年3月18日
代表者	代表取締役CEO 吉村 元久 代表取締役COO 北堀 孝男
本社	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル18階
資本金	628百万円 (2020年12月末現在)
主要株主	吉村元久 39.2%、日本たばこ産業(株) 4.7%、他
連結業績	売上高：29,875百万円 (2020年2月期)
従業員数	連結：1,062人 単体： 22人 (ともに、2020年2月現在)
事業内容	食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。 子会社において各種食品の製造・販売。
グループ会社	主要連結子会社：20社
市場	東証1部 (2884)

代表取締役CEO 吉村 元久 プロフィール

出身地	北海道函館市
最終学歴	1988年3月 一橋大学商学部卒業 金融論専攻 1994年6月 ペンシルバニア大学大学院ウォートン校卒業 ファイナンス専攻 (MBA)
職歴	1988年 4月 大和証券株式会社入社 事業法人部 上場企業の資金調達業務 1996年 7月 同社 資産証券部 課長代理 資産の証券化業務 1997年 10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社 事業法人部 エグゼクティブディレクター コーポレートファイナンス業務 2008年 3月 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 代表取締役 (現任)

当社の歩みは、中小食品企業のM&Aと当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史



製造事業セグメント

販売事業セグメント

楽陽食品



シウマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシウマイの生産量は国内トップシェア

桜顔酒造



日本酒

- 昭和48年岩手県の地場の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

純和食品



ゼリー

- 高い技術力と彩の国 HACCPに認定された高い品質管理能力

ヤマニ野口水産



水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

まるかわ食品



ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシピよぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店

NKR CONTINENTAL



業務用厨房機器販売

- 主にシンガポール及びマレーシアの高級ホテル等へ、業務用厨房機器を設計・製造・施工・販売

ヨシムラ・フード



業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

ダイショウ



ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー

オープン



冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつ唐揚等も製造

栄川酒造



日本酒

- 業歴約150年の会津の酒蔵、「栄四郎」は全国新酒鑑評会金賞を受賞

JSTT SINGAPORE



寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンガポールの大手スーパーへ販売

PACIFIC SORBY



水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

香り芽本舗



ふりかけ・スープ

- ソフトタイプのわかめふりかけ、わかめスープ等の自社商品からOEMまで、高品質かつ多様な商品を製造

ジョイ・ダイニング・プロダクツ



宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

白石興産



乾麺

- 創業130年
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

雄北水産



まぐろ加工品

- 船凍品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

エスケーフーズ



とんかつ

- 「彩の国優良ブランド」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品

おむすびころりん本舗



フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

森養魚場



鮎 (アユ)

- 岐阜県内3カ所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

SIN HIN FROZEN FOOD



水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく不確実性を含んでおります。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない管理資料が含まれております。